



「ぴるる」PLL350Nシリーズ カタログ

(2009年8月発売、2010年4月改定N)

「ぴるる」は、スタンドアロンですぐ使える、お手軽PLLシンセサイザ・モジュールです。(写真は差動出力)

液晶表示器付きで最小ステップ=100Hzの「_01+」モデル、最小ステップ=10kHzの「_03+」モデル、
液晶表示器無しで最小ステップ=100Hzの「_01」モデル、最小ステップ=10kHzの「_03」モデルの4種類

特長

137.5MHz ~ 4400MHzを最小100Hzまたは最小10kHzステップでカバー。(2200MHz未満は分周波)
ADI社のLSI(ADF4350)を使用。VC-TCXOも搭載。(高安定周波数、微調整トリマ付き)
付属ロータリー・エンコーダで快適操作。(バンド境界を意識不要のシームレス)
10チャンネル・メモリ(各チャンネルの周波数と桁位置、出力レベルを記憶)、チャンネル・レジューム。
優れた低位相ノイズ/ジッタ特性。(高調波はありますが、外部LPFでカット可能)
出力レベルは5段階。(ADF4350仕様の4段階とMute)(注: シングル出力は差動出力の-3dB)
ロックまたはアンロック表示あり。(LEDおよび液晶にて表示)
バックライト付き液晶表示器(SC1602互換)とぴったりのコンパクトサイズ。
シンプル設計。(制御にはPIC16F690-I/Pを使用、ソケット付きなのでファームウェアもアップデート可)
そのまま組み込み用途にも。(液晶表示器を外しても動作に支障ありません)
金属ケースに組み付けるなら、簡易信号発生器の出来上がり。
各種の実験に、また、ADF4350の評価用としても安価。
オン・ボードの操作用押しボタン・スイッチ(5個)はコネクタ:CN1から引き出せます。
エンコーダを外しても、オン・ボードのスイッチだけで操作出来ます。

仕様

型式: PLL350N(_01, _01+, _03, _03+)の4種類、シングル出力オプションもあり。
動作環境: 0 ~ 40 °C、20 ~ 80%Rh
電源: DC5V ± 5%、約0.2A(USBケーブルまたはコネクタ:CN1から供給)
重量: 本体約70g(液晶表示器: TC1602E-13T を含む)
外形寸法: 本体100W × 30H × 25D [mm] (SMAジャックの突起部を除く)
取付けネジ: 液晶表示面側のみM3 × 4箇所、深さ4mm(ほかはM2.6)
出力ポート: 50 Ω、SMAジャック × 2個、差動出力対応(Aポート ± のみ、Bポートなし)
基本波出力周波数: 2200.0000MHz ~ 4400.0000MHz(100Hzまたは10kHz ~ 1GHzステップ)
分周波出力周波数: 137.5000 MHz ~ 2199.99** MHz(100Hzまたは10kHz ~ 1GHzステップ)
内蔵基準発振器: 20MHz、± 2.5ppm(-30 ~ 75 °C)、± 1ppm / 年max.(@25 ± 3 °C)
コネクタ(CN1): 基板側= B7B-XH-A、ハウジング= XHP-7(日圧)
付属エンコーダ: EC16B相当品(24パルス / 回転)
付属電源ケーブル: USB A-ミニB、長さ1.5m(USB_I/Fチップは未実装)

製造・販売: (有)電子研 Fax: 075-842-0773 〒602-8155京都市上京区主税町1143

url: <http://web.kyoto-inet.or.jp/people/kadoh/denshiken/>

2010CAT001N